

課題番号	LZ005
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)  
実施状況報告書(平成23年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	看護卒後教育による mid-level-provider 育成と医療提供イノベーション
研究機関・ 部局・職名	東京医科歯科大学・大学院保健衛生学研究科・教授
氏名	井上智子

1. 当該年度の研究目的

我が国における mid-level provider(高度実践看護師) の①教育プログラムにおける共通科目(案)を作成し、3 科目(6 単位分)のシラバスならびに教育方法を開発する。教育プログラム(案)について、日本看護系大学協議会、関係者との意見交換、会議等を開催し、企画事業の成果が我が国の将来の mid-level provider(高度実践看護師)としての第三者機関からの認定教育内容となるよう、意見調整を重ねていく。

開発した教育プログラム(案)を招聘講師による配信事業として実施する。対象は、専門看護師資格取得者ならびに看護系大学院の専門看護師教育課程にも情報提供し、賛同者の参加を募る。「国民との科学・技術対話」事業として、mid-level provider(高度実践看護師)と我が国の医療システムのあり方、ならびに本事業の情報発信としての市民フォーラム等を企画し、さらに国民からの意見を広く聴取できるような IT 環境整備に着手する。

2. 研究の実施状況

1. 日本における高度実践看護師育成のための教育

学内協力者(6 名)学外協力者(6 名)海外アドバイザー(4 名)の参加を得ながら連続シンポジウム・フォーラムを継続し、我が国の高度実践看護師のあり方と教育について検討している。また専門看護師から高度実践看護師への移行に不可欠な共通科目 B(ヘルスアセスメント、病態生理学、臨床薬理学)のシラバス作成とオンライン配信システムの整備を進めた。また海外招聘講師による共通科目 B の演習準備のため、講師来日のもとに臨床事例作成等を進めている。

オンライン配信教育による共通科目 B について、日本看護系大学協議会、専門看護師教育課程認定委員会の認定申請(H24 年度)の予定である。教員の海外派遣を行い、mid-level provider 教育(遠隔教育を含む)、評価システム、認定システム等について、米国での実地見聞ならびに意見交換を行った。

共通科目 B のオンライン配信準備をほぼ整え、H24.6 の教育開始に向けて受講生募集要項を定めた。

2. 高度実践看護師を軸とした医療提供システム提言に向けて

オンライン教育を受けた修了生が、社会で活躍する際の医療提供システム検討に向けた準備として、卓越した実践を行っている専門看護師への調査準備(計画立案、倫理審査承認)をすすめた。

3. 経験を積んだ我が国の専門看護師の海外派遣

様式19 別紙1

3 専門領域(クリティカルケア看護、がん看護、小児看護)の最低 5 年以上の経験のある専門看護師を海外に派遣し、米国の mid-level provider のシャドーイングや直接指導を受け、我が国への導入時の課題等についての知見を得た。

4. 機関誌発刊

本事業の成果報告と広く意見交換の場とするために、Advanced Practice Nursing(APN)を発刊し、全国 200 の看護系大学と専門看護師に配布した。

5. 「国民との科学・技術対話」の推進も含めた社会への情報発信として、H23 年 12 月 3 日高知市において市民フォーラムを企画、実施した。

3. 研究発表等

雑誌論文 計1件	(掲載済み一査読有り) 計1件 井上智子: 看護師の役割拡大とクリティカルケア領域での未来像、一特定看護師(仮称)創設の動きの中で一、日本クリティカルケア看護学会誌、7(1)1-7、2011. (掲載済み一査読無し) 計0件 (未掲載) 計0件
会議発表 計3件	専門家向け 計2件 ・井上智子: ケアとキュアの統合を基盤とする看護実践の発展 一看護教育・制度の視点から一、高知、第 31 回日本看護科学学会学術集会抄録集、128、2011. ・井上智子: 機能する医療チーム、特別企画 医療を語る I 小テーマ 4 チーム医療のあり方、東京、第 28 回日本医学会総会 2011 東京、40、2011.  一般向け 計1件 ・井上智子、丸光恵、佐々木吉子: 広がる看護職者の仕事 「社会のニーズに応える看護を求めて」、第 31 回日本看護科学学会学術集会、最先端・次世代研究開発支援プログラム「国民との科学・技術対話」、高知城ホール(高知市)、2011 年 12 月 3 日.
図書 計0件	
産業財産権 出願・取得状況 計0件	(取得済み) 計0件  (出願中) 計0件
Webページ (URL)	<a href="http://www.adnr.jp/">http://www.adnr.jp/</a> 「看護卒後教育による mid-level-provider 育成と医療提供イノベーション」
国民との科学・技術対話の実施状況	「動き出した高度実践看護師教育」2011/7/9、東京医科歯科大学、専門看護師・看護系大学教員等、185 名 「これからの高度実践看護師のコアコンピテンシー」2011/9/9、東京医科歯科大学、専門看護師・看護系大学教員等、90 名 「広がる看護職者の仕事」2011/12/3、高知城ホール、一般市民等 30 名 「日本における高度実践看護師のスコープ・オブ・プラクティス」2011/12/17、東京医科歯科大学、専門看護師・看護系大学教員等、110 名

様式19 別紙1

	<p>「米国における高度実践看護師の現状と課題」2012/1/21、東京医科歯科大学、専門看護師・看護系大学教員、90名</p> <p>「新しい教育方法：高度実践看護師養成に向けて」2012/2/18、東京医科歯科大学、専門看護師・看護系大学教員、80名</p>
新聞・一般雑誌等掲載計0件	
その他	機関誌発行：「Advanced Practice Nursing」 日本における初めての高度実践看護の専門誌創刊

4. その他特記事項

## 実施状況報告書(平成23年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されます

## 1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額	既返還額(前 年度迄の累 計)
直接経費	82,000,000	37,800,000	0	44,200,000	0
間接経費	24,600,000	11,340,000	0	13,260,000	0
合計	106,600,000	49,140,000	0	57,460,000	0

## 2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を除 く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度執 行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額	当該年度返還 額
直接経費	36,752,100	0	0	36,752,100	36,752,100	0	0
間接経費	11,025,882	0	0	11,025,882	11,025,882	0	0
合計	47,777,982	0	0	47,777,982	47,777,982	0	0

## 3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	8,319,295	ワイヤレス高機能患者シミュレータ METIman、ベッドサイドモニタ 他、消耗品費
旅費	5,733,034	サンフランシスコ 教育プログラム・教材開発 4/13-4/17 他、国内旅費 明石-本学5/13(最先端次世代研究開発支援プログラム) 他
謝金・人件費等	13,761,196	人件費、アメリカ現地調査に係る指導助言実技実習等謝金 他
その他	8,938,575	ホームページ制作一式、NONPF学会参加費 4/13 他
直接経費計	36,752,100	
間接経費計	11,025,882	
合計	47,777,982	

## 4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
ベッドサイドモニタ	BSM-2301	1	997,500	997,500	2011/7/20	東京医科歯科大学
ワイヤレス高機能患者 シミュレータ METIman	米国METI社製	1	5,481,000	5,481,000	2011/8/18	東京医科歯科大学